

会 議 録

会議名称	平成 28 年度 第 3 回柳川市総合計画審議会
日 時	平成 28 年 10 月 25 日（火） 午後 2 時～午後 4 時
会 場	柳川市民会館 第 1 会議室
出席者 （欠席者 は枠囲 み）	【委 員】馬見塚 英典、<u>太田 豪</u>、新谷 将史、富安 信一郎、川津 匡宏、 太田 達明、<u>松尾 美智代</u>、<u>片山 潔</u>、富田 信雄、山下 宗利、 <u>瀬戸口 京子</u>、益田 幸、伴 和美、松延 享朋、清澄 由美子、 作本 憲行、上田 恵佳、待鳥 暁子、生田 裕子、中村 国保、 長嶋 真穂、<u>平川 裕香</u> 【事 務 局】成松副市長、高崎総務部長、梶島企画課長、古賀企画課長補 佐、野口企画課総合戦略推進係長、企画課総合戦略推進係松藤、 宮部 【関係部長】亀崎議会事務局長、石橋市民部長、原保健福祉部長、建設部 長代理高須まちづくり課長、成清産業経済部長、樽見教育部長、 消防長代理野田総務課長
次 第	1 開 会 2 議 題 （1）第 2 次総合計画の構成について （2）次回開催日について 日時：平成 28 年 11 月 21 日（月）15：00～ 場所：城内コミュニティ防災センター （3）その他 3 閉 会
会議資料	■事前配布 第 2 次総合計画の構成について

1 開 会

高崎部長

27 施策のうち、12 施策の「現況と課題」をとりまとめ、方向性の提示をしています。

2 議 題

会長あいさつ)

皆さんこんにちは。第 2 次総合計画の「現況と課題」に対する「施策の方向性」について、本日の進め方に対して、事務局から説明をお願いします。

(1) 第 2 次総合計画の構成について

事務局より前回会議からの経過及び内容の見方について説明。

その後、項目毎に事務局より概要説明を行い、協議。

(□は委員発言、■は関係部長発言)

柳川市の歴史・文化・風土に誇りと愛着を持つふるさとづくり

(3) 文化芸術に触れる機会の創造

□これまでの施策と違っている所というのがありますか。

■前回の第 1 次総合計画から新たに掲載している施策のことだと思いますが、3 つの新たな施策を提案しています。まず 1 点目が 3 ページの 1 つ目の●の部分に文化活動拠点の整備で市民文化会館の整備を挙げています。次に 2 つ目の●の部分の①「芸術制作作家誘致事業（アートティスト・イン・レジデンス）で芸術家を呼んで芸術文化に触れるまちづくりをおこないましょうという所、3 つ目が 4 ページの●の③にあります。平成 27 年 3 月に「水郷柳川」という名称で掘割全体が国の名勝に指定されています。これを保存・活用していきましょうというものです。後は大きく変更した所はありません。

若い世代の希望を叶え、柳川の子育て、暮らしに幸せを感じるひとづくり

(6) 結婚・出産応援

■第 1 次総合計画には無かった部分で、施策に厚みが少ない部分になっています。人口ビジョンの 8, 9 ページ、非婚化、晩婚化が柳川で進んでいます。73 ページの女性アンケートでは、未婚者の 6 割強が「いずれ結婚するつもり」という結婚願望が高い。しかし、経済的問題をクリアする必要があります。

□新婚世帯への住まいの希望は調査を行っているか。

■行っていません。

□住まいの施策は取り扱わないのか。

■次の施策で取り扱うようにしています。

(7) 手頃な住まい応援

□最初の●の通勤アクセス改善は、特定の交通機関に対するものでしょうか。

■柳川市の傾向からいきますと西鉄天神大牟田線の運行時間短縮や増便が望ましい所でこちらを念頭において記載しています。

□駅前に駐輪場を作るなど、駅への利便性向上はないのか。家を建てるのは駅前だけではないので、駅に来る方法をどうにかしないと送ってもらうとしても、駅前で渋滞している。駅までに着くのに時間がかかるので、その対策はないのか。

■柳川駅へのアクセスの問題だと思いますが、アクセス方法として路線バスや家族の送迎、自転車が、多く、重要な問題だと認識しています。路線バスに関しては補助金を出して路線を確保している状況で当然、この計画の中で掲載していくことになります。駐輪場も十分とはいえないかもしれませんが東と西に1箇所ずつ整備しています。

□駅前の駐車場が以前は無料だったのが有料制になったような記憶があるが、それに対する利用者の声はないか。

■東口の駐車場の件だと思いますが、以前から20分までは無料で停められていましたが、1日の駐車料金の上限を設けていなかったため、今回見直しで上限額を決めています。

□西口のロータリーですが、帰省の時間帯になると非常に多い。渋滞解消が出来ないか。

□特急停車の15分前から待っている方も多い。

■ご指摘のとおり、夕方のラッシュ時に一時的に混雑していることが多く、以前は、線が無かったこともあり、停め方が煩雑になっていたが、線を引いて道徳的に多少改善がされたと思っています。また、出来るだけ駅の東口を利用するように利用者に働きかけと誘導を行ってまいりたいと思っています。

□一番手前のスペースの後ろに無理やり停めて、抜けれない状況になっている。

■それも把握しており、今年も2回ほどガードマンを要請して、そういった停め方をしないように指導したり、パンフレットを作って配布したり利用者に働きかけを行っている所です。

□東口も20分タダなので、もうちょっとアピールして停めてもらうようにしたらどうか。

■柳川市民でも知らない方がいると思っています。また、佐賀や大牟田から送迎に来られる方にも柳川駅の利用に関するパンフレットを配っていくように考えています。

□駐輪場は足りているんですか。

■駐輪場は無料で運営しているが、増やせば増やすほど、駐車台数が増える傾向になります。利用が多いのは高校生が電車で通学して、駅から高校まで自転車

で通うという形態です。長期に放置されている自転車の撤去も行っています。
□駅前駐輪場は藤吉校区の防犯協会の方が定期的に巡回して管理しているのでは。

■指摘のとおり、今でも藤吉校区の防犯協会で行われています。

(8) 就業や女性の再就職応援

□子育てにやさしい活動を行っている企業の認定や表彰制度の導入は、市報等で積極的にPRされたらどうでしょうか。また表彰制度の中に税制面の優遇などあれば、そういった企業が増えてくると思いますが。

□優良企業というのがどういった形で知らされているのかというのは大事な課題だと思います。もちろん柳川市内のお知らせは当然ですけど、もう少し広域でPRしていくということは、柳川に流入してくる人を増やす良いきっかけになるのではと思います。今日の資料で第一子を出産するにあたって、就労を継続する人は38%と書いてありますが、その手前で結婚を機に3割の人は仕事を辞めていく現実があります。そういう方たちが柳川の男性と結婚する機会があつてかつ優良企業がこれだけ柳川にあるよって浸透していくと出ていく人を止める方策と入ってくる人をどう増やしていくかということの両方を考えていくことになる。先ほど柳川の人口ビジョンで男性と女性の未婚率というのが非常にショッキングでして、女性はそこそこ結婚するけど男性は未婚率が高い。一方、福岡市は未婚女性が多いことから、そういった所からの流入を検討されてはどうでしょうか。仕事柄、福岡の働く女性に向けて他の自治体から男女のマッチング、婚活イベントをしますと結構な割合でお付き合いとなる。柳川だけのマッチングではなく、需要と供給ではありませんが、他の地域から持ってくる、広域で考えることも人口問題の解決策になるかと思います。

□再就職のところなんですが、文面には関係しないかもしれませんが、今ぐらいの時点でお母さんたちが、再就職しようと思って保育所を探されると、ほとんどお断りしている状態。4月の段階では待機児童なんかいないとなっていますが、11月ぐらいになって再就職しようとする、どこもほとんど受け入れ出来ない。また、柳川の保育料は他の地域に比べてずいぶん頑張ってもらっていますが、近隣にもっと安い所があつて、家建てるときは、その町にということもある。再就職といっても受け皿がなくて困っていらっしゃるお母さんたちがいるのも事実です。

□インターンシップ事業で柳川市の方から28年度が10社、29年度15社、30年度に20社近くをインターンシップ企業として計画を立ててあつて、11月に会議が行われるようになっている。

水郷柳川の風情や快適さに共感し人を惹きつけるまちづくり

(12) 掘割を活かしたこだわりのライフイベントの実施による市民満足度の向上

- 川下りというと柳川観光の看板で、関東や関西からいろんなお客さんを招いて川下りをしていますが、風情がある、心が和むと言われる。そのため、もっと充実した川下りに出来ないかと思う。どういった魚介類がいるとか沿線に四季折々の花を栽植したらどうかと思う。また市民が21%ということでもっと乗って、市民自らが情報発信してほしい。
- 21%の年齢構成は分かるのでしょうか。さっき高校生が出ていくということが説明されましたが、外から見て掘割、川下りはどこにもない財産だと思っており、これを育てることが柳川市を強くしていくことだと思っています。高校生とかに乗せて若い人たちからアイデアをもらうとか出来ないか、またアイデアを出させることで柳川を好きになるエネルギーにつながるのではと思います。
- 子供たちはほとんどが乗っていると思う。観光協会の取り組みで雛祭り、流しびな、掘割探検隊などで子供さんを招待して乗せている。乗ってない世代というと大人の方が多く、この21.9%に出ていると思います。それから、観月船を夏休みとシルバーウィークに運航していて、年々浸透してきています。
- 川下りの場合、高校でいえば卒業記念でクラスによって実施しています。それは学級費が余ったところで、ないクラスは行わない。市が応援しますとなれば、愛着も出来るのではないかと思います。
- 川下り沿いに白秋道路も通っているので、白秋もアピールするべき。他との組み合わせも必要。

(13) 魅力ある市街地の新たな形成

- 駅東口の開発でゆめモール等作られており、見直しは行われていないのか。
- ゆめモールの進出は用途変更を行っており、以前も若干の見直しは何度か行っています。しかし、農振地まで変更していこうという大きな見直しは今のところありません。

(15) 広域連携によるまちづくり

- 観光として取り組んでいることを報告します。大牟田・大川・みやま・筑後の観光協会等々と連携していろんな形で観光のPRをしていこうということで話し合いを行っております。現状として旅行者の窓口の方、担当者の方が柳川自体を知りません。そのため、担当者の方に一度こちらに来てもらって柳川のファンになっていただくため、今年、市の方で予算をつけてもらって動いています。これからは柳川だけではなく、滞在時間を伸ばすために近くの市町に立ち寄っていただくようにしています。また、柳川市が観光PRを行うときには近隣市町のパンフを、近隣市町が観光PRに行くときは柳川のパンフを持って

いってもらようようにしています。

柳川の地域資源や産物を誇れるしごとづくり

(23) 大学・地元高校等との連携

- 進学の方というものが推薦制度がものすごく充実してきて、本校の場合、推薦で8割の生徒が進学していく。指定校、AO、クラブ、一芸など。これに付随して入学金免除とか授業料〇割とかもある。推薦制度をうまく利用すれば、12月までにほとんどの生徒の進学が決まっています。公立は別として私学関係は、こういった制度を利用して進学率を上げている。就職希望は今年は90名でしたが、実際に書類を出したのが70名、求人者数はといえば、現時点で980社近く来ている。ただ県外が多い。地元志向といっても柳川だけなのか近隣まで含むのか分からないが、なかなかうまくいかない。一流企業や上場企業に就職するには県外に行かないといけない。大学については近くに保健医療経営大学がありますが、名前で数年間は受験者がいなかった。聖マリア教養学部にしたら受験しますよと何回か言ったけど町との約束で簡単に変更できませんとのことだった。難しい名前だと受験しない。今年は看護系の受験者がいるんですけど福大の看護や久留米大の看護、聖マリアの看護、九州医療の看護、帝京大学の看護というふうに看護系も多い。誘致というけど今の希望は看護系や医療に関する学科が多い。テレビの影響も大きい。福岡県は学校が充実している。大学を選ばなければ、どこかに入れる状況になってきている。柳川高校でも指定校が100校、短大で50、専門学校で140ありますからうまく希望が合えば入れます。ただし、進学の希望は増えつつあります。
- 大学も全入時代に突入し、どうすれば若い力を地元に留めておく、生かすことができるか、なかなか難しい。

(24) 柳川の特長を活かした舞台の整備

- 認識が違うかなと思いますので、訂正をお願いします。16ページの○の3つ目の所ですけど、「26年度に411万人が利用していますが、人口減少により利用者が減少しています。」と書いてありますが、27年度は柳川駅は微増で増えている。増えてる実態としてはインバウンドのお客様とかの需要がありますので、減少していますというのは違うと思います。それから、2点目なんですが、17ページの●の2つ目、非常に具体的に書きすぎているのではという所があるんですが、先ほどの通勤アクセスの改善(8ページ)には事業者に要望するという書き方をしているが、ここだけ高速化や複線化、指定席の検討など、過去、こういったことを要望してきて実現できていない中でまた書かれるというのはこだわりのあるのか。そこはどうなのか。
- 内容については、再度整理をさせていただきます。

□国土利用計画というのは今まで策定をされたことがありますか。その位置付けはどうか。

■どの市町村もそうなんですが、最上位の計画として今回協議していただいている「総合計画」があって、その下に土地利用計画として一番に位置づけられるのが「国土利用計画」になります。その下に都市基盤の「都市マスタープラン」や農業の「農業振興地域整備計画」となります。ただ柳川市では「国土利用計画」は一度も策定したことはありません。

計画を進めるにあたって

(25) 住民とともに進めるまちづくり

□ホームページ等の閲覧数など統計はとっているのか。

■ホームページに関しては、アクセス数は把握している。手元に情報がないので詳しいことは言えないが、市外の方のアクセスが多い。

□利用状況を把握して、どう活用していくのかと改善してほしい。また、お祭りのときに、どこでやっているのか分からない。GPSなどつけてどこで何をやっているのか、今後検討してほしい。

■古い情報を更新して、常に新しい情報を載せるようにしているし、SNSで情報の受発信を行っていきたいと考えています。また、祭りの件ですが、個人が行う分には問題ないが、市でリアルタイムというのは非常に難しい。

(26) 持続可能な財政基盤の確立

特に意見無し

(27) 組織機構改革

□窓口サービスの市民満足度はどのようにになっているか把握していますか。

■人事秘書課の方で毎年2回、各庁舎にお見えになる方に個別にアンケート調査を取らせていただいています。その中では満足度は上がってきているような状況になっています。

□職員が減っている中で、満足度が上がっているということは、質が上がっているということか。

■そういつてもらおうとありがたい話ですが、確かに業務自体が増えてきているというのは間違いありません。それに合わせて職員の残業は確実に増えています。

□(27)に関係ないんですが、柳川市は、人口ビジョンで第1次産業の従事が多いんですが、総合計画に触れていない気がしますどうなるのですか。また、施策の方向性に「～します」とあるが、今後、KPI等の数値目標をいれていくのか。

■1,2 ページをご覧ください。今回、提案したものは赤字の所で、第1次産業については、次回の会議で提案して行きたいと考えています。また、数値目標ですが、今

回の総合計画は、昨年策定した総合戦略を基本にするため、現在は記載していませんが、最終的には全部、記載をして行きたいと考えています。

(2) 次回開催日について

次回の会議は 11 月 21 日、月曜日、15 時からとします。場所は城内コミュニティ防災センターになります。

場所と時間が違いますので、間違われないようにお願いします。

3 閉会